



## カイコはどうやってまゆから出てくるの

### 口から出す液でまゆを破る

カイコは、さなぎになってから10日ほどで、カイコガになります。ガは、口から出す液で、まゆをやわらかくして破り、頭ですき間をおし広げて出てきます。このカイコガが破ったまゆ(出がらまゆとよばれる)は、糸がとちゅうで切れているので、生糸をとるのには使えないため、真綿を作るのに使われます。

改良された最近のカイコのまゆは、ガが自分で破れないため、自分でまゆの外に出られない状態になっています。

### カイコガは飛べない

カイコガは、羽はありますが、飛ぶ力はありません。口はなくなっていて、えさをとることはできません。ですから、まゆから出たメスは、すぐに1メートル以内の近くにいるオスと交尾し、その日のうちに卵を産みます。交尾のときは、オスもメスもはいまわって相手をさがします。ほぼ同時期に、いっせいにまゆからオスやメスが出てこない、交尾もできません。メスは、500個ほどの卵を産みます。

生糸をとるためのカイコは、長い間、人間に飼われて改良されてきたため、性質が変わってしまい、野外では生きてはいけなくなっています。同じ仲間の野生のクワコなどは、野外でヤマグワなどの葉を食べて育ち、葉を寄せてまゆを作ります。しかし、このまゆから、生糸をとることはできません。(監修・中山 周平)

